

学校 教育 目標	自主・創造・共生				
	○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】				
学校 概要	創立 45 周年	学校長 加藤 裕之	副校長 増田 健二	3 学期制	一般学級：9 個別支援学級：3
	児童生徒数： 326 人		主な関係校：横浜市立中沢小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	旭中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自ら学び、自ら考え、行動する力 ・他を認め、協働して課題解決をする力 ・変化に対応し、創造する力	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期 取組 目標	○1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・特別支援の考え方をもとに、授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会で求められる資質・能力を子どもたちに育みます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「共通授業コンセプト」に沿った授業評価を実施し、評価結果を活用して教員同士の相互研さんを行うことで授業改善につなげる。②授業において、グループやペアによる活動の中で、様々な考えを互いに聞き合う機会をつくり、主体的・対話的で深い学びの実践を進める。
担当 学習指導部(授業改善)	
豊かな心	①「児童生徒指導のスタンダード」の理念を徹底し、人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ自己有用感を育成する。②道徳科の年間指導計画において各教科との関連を明確化し、他の教科と連携した人権集会の実施など、教科横断的な教育活動を行う。
担当 生徒指導部/学習指導部	
健やかな体	①「体と心の健康カード」を使って健康目標に対する意識づけを工夫し、健康づくりに対する生徒の意欲を高める。②体力テストの分析を行ったうえで、市の平均を下回っている項目の改善に向けて、継続的に体力づくりを行う。
担当 保健安全指導部/体育科	
特別支援教育	①教職員が連携しながら共感的生徒理解を深め、生徒一人ひとりのよさ(強み)を生かすことを大切にした支援を実践する。②特別支援教室等活用事業モデル校として、支援のしくみづくりを進め、特別支援教室を使用する生徒が自尊感情を高められるように取り組む。
担当 生徒指導部	
特別活動	①行事等での集団活動や話し合い活動を通して、生徒同士の関わり合いを深め、多様な人間関係を築く力、よりよい自分を発揮する力を育てる。②様々な集団活動において、教職員がねらいを共有して計画、指導を行う。
担当 特活指導部	
地域連携・ 学校運営協議会	①地域・防災科を創設し、地域防災訓練や地域の落ち葉掃きを授業に組み込むなど、地域に開かれた教育課程の編成を進める。①学校運営協議会の内容を定期的に学校便り等で発信し、保護者・地域との情報共有を推進し、より良い学校と地域社会を作るといった目標の共有化を進める。
担当 渉外部	
担当	
担当	
いじめへの対応	①生徒一人ひとりが役割をもち、仲間から認められる機会を意図的につくることで、いじめの未然防止につなげる。②行事、特別活動や授業などの様々な場面で、生徒が見通しをもち、居場所や役割を実感できるようにすることで、親和的な集団づくりを進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチーム研修による経験の浅い教職員の実践力向上と主幹・主任会によるミドルリーダーの学校経営参画を柱に人材育成に取り組む。②これまでの教職員の業務を見直して精選を図るとともに、時間割を工夫して放課後に行っていた会議の一部を授業時間内に行うことができるように計画し、教職員の時間外勤務の縮減を図る。
担当 主幹・主任会	